

# 南蛮・紅毛・唐人

一六・一七世紀の東アジア海域  
中島楽章編

▶A5判・400頁／定価：7,140円（税5%込）ISBN978-4-7842-1681-9

2014年1月刊行予定

一六～一七世紀の東アジア海域は、多様なエスニシティをもつ人々が混在し、彼らの活動を通じて、モノやヒト、そして文化や情報が海をこえて運ばれた。そこでは平和的な交易や文化交流から、暴力的な紛争や戦争までが交錯し、交易と略奪、海商と海賊との境界もしばしば流動的であった。本書では「南蛮」「紅毛」「唐人」、そして彼らと接した「倭人」たちが残した証言を、さまざまな視角から多面的に論じることにより、東アジア海域における「紛争と交易の時代」のダイナミズムを描きだす。

## ◎ 内容目次 ◎

序 論―「交易と紛争の時代」の東アジア海域

中島楽章（九州大学准教授）

ムラカ王国の勃興 山崎 岳

（京都大学人文科学研究所助教）

―五世紀初頭のムラユ海域をめぐる国際関係―

一五四〇年代の東アジア海域と西欧式火器 中島楽章

―朝鮮・双嶼・薩摩―

堺商人日比屋と一六世紀半ばの対外貿易

岡本 真（東京大学史料編纂所助教）

ドイツ・ポルトガルに現存する戦国大名絵画史料

鹿毛敏夫（国立新居浜工業高等専門学校教授）

一六～一七世紀のポルトガル人によるアジア奴隷貿易

―ヴィクトリア・ディアスある中国人女性奴隷を追って―

ルシオ・デ・ソウザ（東京外国語大学講師）

（小澤一郎・岡美穂子訳）

近世初期東アジア海域における情報伝達と言説生成

―一六六五年オランダ船普陀山襲撃事件を中心に―

藤田明良（天理大学教授）

清朝の台湾征服とオランダ東インド会社

―施琅の「台湾返還」密議をめぐる―

鄭維中（中央研究院人文社会科学研究中心助研究員）

（郭陽訳）

ポルトガル人のアジア交易ネットワークとアユタヤ

岡美穂子（東京大学史料編纂所助教）



思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		（京都 取引コード 3402）	
冊数	冊	南蛮・紅毛・唐人		本体6,800円（税別）	ISBN978-4-7842-1681-9
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）				
				本書HPのQRコード	書店番線印

## 中世長崎の基礎的研究

外山幹夫著

中世長崎、特に肥前国西南部の松浦郡・高来郡・彼杵郡に着目し、松浦氏・有馬氏などの在地武士団の成立・発展、領国支配の実態や南蛮貿易の推移について論じ、その独自性を明かす。長崎大学名誉教授、長崎市史編さん委員会委員長を務める著者が長年の研究成果をまとめた一書。

▶A5判・424頁/定価 7,875円

ISBN978-4-7842-1589-8

## 日蘭交渉史の研究

金井圓著

思文閣史学叢書

三浦按針を乗せたリーフデ号の漂着から、徳川鎖国・オランダ東インド会社の解散・外国船打払令を経て、開国に至る二世紀半の対外関係史の要をなす日蘭交渉史の知られざる諸局面を、主として在外未刊行史料に基づき実証する論考13篇に、通史・史料を添える。

▶A5判・500頁/定価 8,925円

ISBN4-7842-0446-6

## ※鉄砲 伝来とその影響

洞富雄著

日本の中国侵略戦争時、軍部への反発から書いたという論文から生まれた『鉄砲伝来記』(1939)以来半世紀、日本史家としての関心から鉄砲に取り組んできた著者の総決算ともいえる力作。【内容】歴史を変えた鉄砲の伝来/種子島銃製造法の伝播/鉄砲の起源に関する諸問題/秀吉の朝鮮侵略・維新内乱と鉄砲/二人の特異な砲術家 他

▶A5判変・530頁/定価 10,290円

ISBN4-7842-0657-4

## 近世日蘭貿易史の研究

鈴木康子著

思文閣史学叢書

近世日蘭貿易における日本輸出商品の生産から販売までを、個別商品の輸出状況の調査、一定期間の輸出商品全体の把握、日蘭貿易状況に現れた国内外の諸情勢という三つの複合的な視点から詳細に追究し、近世における日蘭貿易の状況と推移を明かす。日本とアジア・ヨーロッパ市場の動向を長崎貿易を接点としてとらえた国際的研究。

▶A5判・480頁/定価 10,080円

ISBN4-7842-1178-0

## ※シーボルトと鎖国・開国日本

宮崎道生著

永年のシーボルト・コレクション(日本文化の組織的な蒐集品)の实地調査によってえられた未公開・新発見の史料を駆使してシーボルトの本質と実態に迫り、その本領と今日的意義を近世史学の泰斗が解き明かした力作。

▶A5判・370頁/定価 8,925円

ISBN4-7842-0926-3

## ※近世東アジア海域の文化交渉

松浦章著

海によって隔てられた東アジア諸地域間の交流は、波濤を越えた船の往来によって支えられていた。本書は清代帆船やその後に登場した汽船に乗って海を渡った人・物・書籍や文化をとりあげ、中国・日本・朝鮮・琉球などの人々の交流の諸相を明らかにする。

▶A5判・472頁/定価 9,450円

ISBN978-4-7842-1538-6

## 九州の蘭学 越境と交流

W.ミヒエル・島井裕美子・川淵真人編

近世、西洋への唯一の窓口であった長崎及び九州各地で、人々が在来の学術とは異質な西洋近代科学にどう向き合い、学び取って、世のため人のために役立てたのか、あるいは来日した西洋人が、知的交流や技術移転にどれほど貢献したのかを、最新の研究成果に基づき、彼らの業績と足跡を通して明らかにする。

▶A5判・380頁/定価 2,625円

ISBN978-4-7842-1410-5

## ※蘭学の背景

石田純郎編著

1609年平戸のオランダ商館開設以来、オランダを通して流入、江戸中期以降興隆した蘭学、殊に蘭医学のルーツを、遠影ともいふべきライデン大学、大きな影響を与えたシーボルトの医学的背景、近代日本に直接影を落としたウトレヒト陸軍軍医学校など、直接現地に足をのびて探り、蘭学史に新たな光をあてる。

▶A5判・360頁/定価 3,990円

ISBN4-7842-0512-8

## ※戦国大名の外交と都市・流通

鹿毛敏夫著

思文閣史学叢書 豊後大友氏と東アジア世界

西日本の戦国大名のアジア外交の実態とそこに潜む意識構造について解明するとともに、政治・経済・文化的にアジア諸国と緊密な関係にあった西国大名による都市・流通政策の実態を明らかにする。

【内容】戦国大名館の建設と都市/戦国大名大友氏の蔵経営/中世豊後府内の祇園会と大友氏/中世の川と水運・治水 他

▶A5判・300頁/定価 5,775円

ISBN4-7842-1286-8

## ※日欧のかけはし 南蛮学の窓から

松田毅一著

フロイスの日本史をはじめ、イエズス会日本報告集や南蛮史料の研究で知られる著者が、精密な史料研究の合い間に折に触れて発表した小論・エッセイを収める。両洋から照らし出された事実の数々が、史家の冷静な眼が、キリシタン時代の国際的環境、異文化の出会い、人々の姿を語る。

▶A4判・352頁/定価 2,940円

ISBN4-7842-0618-3

## 鎖国時代長崎貿易史の研究

太田勝也著

思文閣史学叢書

寛永鎖国の成り立ちから江戸時代中期の正徳新例に至るまで、幕府の貿易政策を徹底追究。長崎貿易史において重要課題である糸割符仕法・相対売買法・貨物仕法・制定高制度・銅代物替貿易・長崎会所貿易・宝永新例・正徳新例の展開を数量的考察とともに実証的に体系づけ、随所に新見解を示す。

▶A5判・664頁/定価 14,490円

ISBN4-7842-0706-6

## ※長崎奉行の研究

鈴木康子著

17世紀後期から18世紀中期の約100年間の、長崎奉行の職掌や幕府内における長崎奉行の位置づけの変化、そして長崎奉行自体の特質が変質してゆく状況を解明し、その背景となる幕府の経済政策の推移や、日本側の外国人に対する意識の変化などについても考察を加える。

▶A5判・420頁/定価 6,510円

ISBN978-4-7842-1339-9

## 東アジアの本草と博物学の世界 [全2巻]

山田慶児編

18世紀、日本で遭遇した東の本草学と西の博物学。それらにおける知的冒険の展開を、学問・産業・芸術のような分野への影響を含めて、多角的に考察した21篇。国際日本文化研究センターでの共同研究の成果。

上巻▶A5判・364頁/定価 7,875円

ISBN4-7842-0883-6

下巻▶A5判・376頁/定価 7,875円

ISBN4-7842-0885-2

## 近世中国朝鮮交渉史の研究

松浦章著

近世中国と朝鮮国との交渉について、朝鮮から北京に赴いた赴京使による定期的な外交交渉と、漂着船や交易船による不定期な海を介した交渉の両面から考察する。付録として、天理大学附属天理図書館蔵の「漂人間答」を全文影印掲載。

▶A5判・328頁/定価 6,300円

ISBN978-4-7842-1709-0

## ※喫煙伝来史の研究

鈴木達也著

南蛮人によってもたらされたタバコは、江戸時代初期に喫煙が禁止される程に民間に流行した。在野のタバコ研究の第一人者である著者の10年に及ぶ調査研究の成果である。外国語文献に精通する著者ならではのタバコ伝来に関する実証研究である。キセル起源の考証と共に、柔軟な視野と発想が際立っており、珍しい図版も添えられている。

▶A5判・360頁/定価 5,775円

ISBN4-7842-1018-0

## ※東アジア経済史研究 第一集

中国・韓国・日本・琉球の交流

大阪経済大学日本経済史研究所編

【内容】漢代財政監督に関する研究/中国漢民族居住地域における宗族集住の地域差/近世日本中国朝鮮における貨幣経済化比較史試論/砂糖菓子からみた近世日中間の境界領域/近代日清関係の形成/ミシンのグローバル性と東アジアの衣服産業 他

▶A5判・344頁/定価 4,200円

ISBN978-4-7842-1498-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。